

議事 3

移動手段の確保に関する先進事例調査について (乗合タクシー事業)

1 現状および目的

- ・本市では、バス利用者数の減少が長年にわたり続いており、このことがバス路線の廃止・減便につながり、廃止等によるバスの利便性低下は更にバス利用者の減につながるといった「負のスパイラル」に陥っている。
- ・こうした状況の中、本市としてはこれまで、赤字路線バスに対する助成や郊外部におけるマイタウン・バスの運行により、市民の移動手段の確保に努めてきたところであるが、公共交通の不便な地域は存在している。
- ・公共交通の不便な地域への対応は、第2次秋田市公共交通政策ビジョンに位置づけた課題であり、先進事例調査を行うことにより、本市の実状に合った施策検討の参考にしようとするものである。

2 調査先等

新潟県三条市市民部環境課 7月下旬頃予定

3 調査内容

三条市デマンド交通「ひめさゆり」の運行経緯、関係者の役割、運行費用、運行開始後の課題、運行エリア重複箇所に関する路線バス事業者との調整について等

〈三条市デマンド交通「ひめさゆり」の概要〉

三条市が平成23年度に導入した市内全域に停留所が設置されているデマンド交通である。時刻表および既定の路線が無く、目的の停留所に乗換無しで直接行くことができる。また、三条市在住でない方も利用することができ、事前の利用登録無しでタクシー会社への電話予約で利用することが可能である。

三条市では、市内全域で利用可能なデマンド交通導入後も民間の路線バスは存続しており、双方の運行エリアが重複しているが、各々の特徴を踏まえた事業の役割分担を行って対応している。

4 調査人員

地域公共交通協議会委員（代理を含む）4名程度、事務局2名

5 調査費用

地域公共交通協議会予算から支弁